

様式第11号(第9条関係)

実績報告書

平成19年 4月 13日

市川市長

団体名 特定非営利活動法人ホームレス
自立支援 市川ガンバの会
代表者名 副田 一朗
所在地 市川市八幡2丁目1番10号
電話 047(335)7815

平成18年 7月 4日付け 市川第20060630-0174号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者等が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 771,026円

2. 交付決定額 382,615円

3. 添付書類

- (1) 支援決定事業収支決算書(様式第12号)
- (2) その他市長が必要と認める書類



[事業報告書]

事業の名称	路上生活者支援事業
事業の実施時期	2006年4月～2007年3月
実施場所	市川市全域
事業内容 事業結果 (成果・課題等)	<p>路上支援活動</p> <p>路上生活者（ホームレス）の人としての尊厳や、命の尊さを真摯に考え、その人権擁護と自立の支援を行なう。</p> <p>毎月第一・第三・第五金曜日の夜間パトロール、炊き出し、自立生活に関する相談及び支援を行なった。2006年度については、4～3月まで合計27回の夜間パトロールを行なった。1回ずつのパトロールでの出会いの平均人数は、75名（含生活痕跡）であり、昨年度の80名、一昨年度の89名と比較しても着実に減少している。夜間パトロールからの居宅者は12名（昨年11名、一昨年10名）である。だんだんと居宅支援の成果が現れつつある。4月から9月の上半期では、毎回70名以上を記録し、時に80名以上を超えていたが、10月から今年3月までの下半期では、80名を超えたことが無く、70名を下回った事も2度あった。</p> <p>今年も昨年同様、路上からの生活保護申請による居宅者が1名、入院先病院からの居宅者は4名（昨年度2名）となった。</p> <p>そして昨年同様、今年もパトロールコース内から2名の行旅死亡者が出てしまった事は心痛む出来事であった。1名は通院支援を求めて来たが、時既に遅く、末期の病状であった。もう1名は、テント内で亡くなり数日経った状態で発見された。ここは高速道路 IC 工事フェンス内で、夜間は危険で近づくことが出来ず、夜間パトロール時には行く事を断念し、昼間の巡回でも三月に1度しか行くことができなかった。近くに生活者がいたがこの方とは行き来が無く、関係性の希薄さの出来事とも言え、関係性の重要性を再度教えられた。</p> <p>夜間パトロールでは、全体的に出会いの人数は減少しているが、依然として新人との出会いも多く、今後も地道に支援活動を継続していきたい。</p> <p>居宅支援活動</p> <p>1999年3月から、アパート居宅支援を開始。2001年には「自立支援住宅」を始動。路上生活者の居宅支援及び自立支援住宅入居支援、生活保護申請時の行政交渉支援、借家時の保証人など。</p> <p>今期は市川ガンバの会自立支援住宅入居者（4名）：（うち3名は新たな住居へ転居済み）、市川市自立支援住宅入居者（13名）：（うち9名は新たな住居へ転居済み）、その他の居宅者（7名）：（路上からの生活保護申請による入居、病院からの入居等）となった。</p>

居宅者交流会、ガンバ懇親旅行

「アヒルの会」アパート入居後の支援活動も行なっている。3～4ヶ月に一度交流会を実施、入居後の孤独を乗り越える為に、支援者との、また居宅者同士の関係作りの為に活動を続けている。

今期の活動報告は以下の通り。

2006年6月23日(金) 第15回交流会。市川市勤労福祉会館にて講師を迎えストレッチ体操、弁当。

2006年10月13日(金) 第16回交流会。市川八幡教会にてカレーライス調理、食事。その後衣類整理。

2007年2月23日(金)～24日(土)

第5回懇親旅行：山梨県石和温泉。居宅者支援者合計64名の参加。

夏祭り、新年会

夏祭り及び新年会の開催。追悼会及び葬儀の開催。

夏祭り：2006年8月13日(日) 本八幡公園にて

プログラム；追悼会、食事(ソーメン、カレーライス、カキ氷、飲み物等)相談(医療、生活、債務)懇親(ゲームカラオケ、ピンキーとキラーズダンス)

地域通貨である「ガンバ通貨」が定着。

新年会：2007年1月4日(木) 本八幡公園にて

プログラム；追悼会、食事(雑煮、飲み物、甘酒、おでん)相談(医療、生活、債務)

懇親(落語、手旗ゲーム、ビンゴゲーム、カラオケ)

*葬儀：匿名(居宅者)2006年5月12日 市川八幡教会にて葬儀市川斎場にて火葬。

匿名 2006年6月22日 市川斎場にて火葬、収骨に参列。

匿名 2007年2月13日 市川斎場にて火葬、焼香、収骨に参列。

支 援 決 定 事 業 収 支 決 算 書

事業の名称：路上生活者支援事業

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
会費収入	240, 000	3, 000 円×会費80名
寄付金収入	148, 411	個人寄付金
補助金収入	382, 615	市川市市民活動団体支援金
合 計	771, 026	

2. 【支 出】

（単位：円）

項 目	金 額	説 明（積算等）
夜間パトロール費	104, 900	米、たくあん、海苔、カップラーメン等の食料費及び風邪薬、胃腸薬、湿布薬等の薬代又これに附随する費用
葬祭開催費	235, 351	夏祭り・新年会の会場設置費、食料等の給費用、葬儀費用等
広報交流費	211, 692	年2回のニュースレター発行諸費用
入院支援費	23, 740	入院セット（パジャマ、下着上下、タオル、石鹸、歯ブラシ、マグカップ、スリッパ、洗面器、箸、箸入れ、ラジオ）
居宅支援費	76, 908	アパート入居に関する諸費用（印鑑証明、掃除代、現状復帰に関わる諸費用）
居宅者交流会費	76, 289	年4回程度の交流会開催費（飲食料代等）
交通費	10, 000	事業を行なうにあたってのガソリン代等
備品費	32, 146	事業を行なうにあたっての消耗品等
合 計	771, 026	

※ 領収書（原本）を添付してください。

※ 原本を手元に保存したい時は、コピーでも構いませんが、原本確認が必要になります。（領収書は、会場使用料、講師謝金、印刷製本費、通信費、事務消耗品費、設営費などの費目ごとに日付順にまとめてください。別紙の要領で領収書を添付して下さい。）